

# 会 議 録

## 第 1 2 回定例会

開会 令和5年9月25日

## 教育委員会会議録

1 開 会 令和5年9月25日 午前10時

2 閉 会 令和5年9月25日 午前10時50分

### 3 教育委員会出席者

教育長	榊 浩一
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	横田 賢二

### 4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	阿部 淳子
教 育 次 長	中野 敏章
教 育 次 長	生田 雅和
教 育 創 生 課 長	藤坂 仁貴
教 職 員 課 長	西浦 利幸
教 育 政 策 課 長	内海 はやと
教 育 政 策 課 副 課 長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[教育長報告]

副教育長 9月定例県議会における質疑応答の概要について報告する。

〈質 疑〉

島委員：校則について、どこかの学校で大きく見直された事例はあるのか。また、それを周知する仕組みはあるのか。

副教育長：今のところ、生徒独自で意見を吸い上げていく取組ができているといった中間報告を受けている。10月末を目処に、過程を含めた成果報告を行い、好事例については、ホームページで公開し、県民の方に伝えられるような仕組みを作っていきたいと考えている。

[議 事]

《報告事項1 第3回徳島県教育振興審議会について》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：「徳島ならではの」とよく言われるが、県外の方に対して、3つ程度に絞って説明するとしたら、どのような点がアピールポイントになるのか。

教育創生課長：第3期計画からの主な改定の視点として、「いじめ・不登校と向き合う学校づくり」や「グローバル人財の育成」、「教職員研修の充実」等がある。これらを踏まえ、本計画の主な取組として、「生成AIに係る教育活動」や、「国際的視野を持つ人財の育成」、「生徒主体の

校則見直し」等を盛り込んでいる。

島委員：デュアルスクールなどは、本県ならではの取組だと思うので、取り上げても良いかと思う。

教育創生課長：デュアルスクールに係る教育活動も、本計画に位置づけている。

教育長：策定を進めている次期徳島教育大綱では、「個性と国際性に富み、夢と志あふれる『人財』の育成」を基本方針として掲げており、それを実現するための施策の総体が「徳島ならではの」教育であると認識している。

横田委員：45ページの参考資料で「オープンとくしまe-モニターアンケート」とあるが、どういうものか。

教育創生課長：監察局県庁ふれあい室が行っているもので、200名のモニターを対象に、様々なテーマについてアンケートを実施している。その中で、教育に関する事項についても御意見をお聞きしている。

横田委員：200名のモニターは毎年変わっているのか。

教育創生課長：年度中1年間は固定されているが、毎年変わっていると認識している。

#### 《協議事項1 令和6年度徳島県立学校実習助手採用候補者選考審査要綱について》

教育長 説明を求める。

教職員課長 内容等を説明する。

#### 〈質 疑〉

横田委員：例年、採用人数に対して、どのくらい応募があるのか。

教職員課長：令和5年度の場合、実習助手（普通）は応募者9名に対して合格者1名、実習助手（農業）は応募者19名に対して合格者2名となっている。

教育長 協議事項1を議案第27号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第27号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第27号を原案どおり決定する旨を告げる。

#### 《協議事項2 令和6年度徳島県立特別支援学校寄宿舎指導員採用候補者選考審査要綱について》

教育長 説明を求める。

教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 協議事項 2 を議案第 28 号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第 28 号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第 28 号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《報告事項 2 令和 6 年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査第 2 次審査の結果について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前 10 時 50 分